

未来に続く平和への道を示す「ホピの予言」と「大地といのちの祈り」上映会

未来に続く平和への道しるべ

地球の上で起こっていることすべて私たちにつながっている。古代のメッセージから
エイチを学び、“平和な未来、への道をつくっていきましょう。



アメリカ先住民ホピ族に伝わる石版に示された予言には
広島・長崎に投下された原子爆弾のことも、この先の
地球に現れる天変地異のことも記されていました。

ホピの予言

⊕ ホピとは平和という意味です。
2004 年版 補遺版「浄化の時代を迎えて」

東日本大震災から1年8ヵ月後、
アメリカンインディアン
デニス・バンクス氏による福島訪問。
そこで語られた、
未来に残すべきメッセージ



3.11 の後の福島県南相馬市小高地区。震災、
原発事故で生活が一変してしまった人々は苦し
みながらも日々助け合って暮らしています。
同じ痛みを分け合う同朋として来日したアメリ
カ先住民平和運動活動家デニス・バンクスとの
交流の記録。

～福島からのメッセージ～

大地といのちの祈り

★ お話し

辰巳玲子さん

(ランド・アンド・ライフ「ホピの予言」2004 年版制作)

- ◆ 2013.11 月 2 日 (土) 13:00 開場
- ◆ メディアテーク仙台 シアターホール (7F)
- ◆ 入場料 1,000 円 (高校生以下無料)



お申し込み・お問い合わせ

レインボーネットワーク

TEL・FAX 0223-24-4546 (鈴木ことば)
ケイタイ 090-6457-1544 (薬師丸たが子)

上映作品紹介

ホピの予言 1986年 75分 ランド・アンド・ライフ制作 監督・宮田雪(きよし)

北米先住民「ホピ族に伝わる予言から現代人に対する警告を描いたドキュメンタリー。母なる大地の心臓部に眠る「人間が正しく使えるようになるまでは、決して掘り出してはならない」とされてきたウラン鉱。その採掘の実状と、差別と抑圧で形成された核サイクルの正体を暴露した作品です。87年アメリカインディアン・フィルムフェスティバル、ドキュメンタリー大賞受賞作品。

浄化の時代を迎えて 2004年 25分 構成・辰巳玲子

2003年3月イラク戦争開戦直後、ホピ伝統派のひとりであるマーチン・ゲスリスウマ氏取材したインタビュー映像。

大地といのちの祈り 2013年 45分

ホピの予言にも登場しているザ・ロンゲスト・ウォークのデニス・バンクスが3.11後の南相馬へ。同慶寺の若き住職田中徳雲や町の人達と交流した様子やアメリカ先住民と原発事故の被害を受けた福島との共通点について語ります。

福島第一原発から17kmの南相馬市小高地区は今も「避難指示解除準備区域」として居住が許されていない。樹齢1200年の銀杏が立つ古刹・小高山同慶寺の若き住職田中徳雲師は、被曝を覚悟しながら、3.11以後も人々の心の拠り所としてお寺を守り、故郷の再生を祈って奔走している。

デニス・バンクス氏はそんなお寺と人々を訪ね心と心をつなぐ輪(サークル)をもった。そして、現代文明に暮らしの礎を奪われながらも、母なる大地を信じ続けてきた先住民の視点で、私たちに語りかけるのだった。

アメリカインディアンの予言というものは、常にその予言を変える力が我々の中に存在しているということを伝えています。

だから、どう行動し、どう考えるかによって、次の未来は創れるのだという強い信念のようなものがあります。

北山耕平 (翻訳家)

プロフィール

辰巳玲子さん

1957年神戸生まれ。88年映画『ホピの予言』と監督・宮田雪と出会い渡米する。日本妙法寺による平和行進で東海岸を歩いた後、デニス・バンクス氏が提唱した「Run for Land and Life」の祈りの大陸横断ランに参加。その後宮田雪と共に、ランド・アンド・ライフの活動に関わる。95年から7年間病を得た宮田雪の看病と介護に専心するも、ニューヨークテロとイラク戦争開戦を機に『ホピの予言 2004年版』を制作し活動を再開する。2011年2月14日宮田を見送り、山暮らしをベースに311以後の活動を展開させるべく歩み始めている。

web : <http://hoshimeguri.com/landandlife/>